

ACE

Act and Communicate in English

特集

「わかった!」を増やす、
パノラマ活用術

Tips for Activities!

子どもたちの「わくわく」を引き出す授業

COLUMN

小学校外国語の評価は難しい? ③



各社の小学校英語教科書では、単元（レッスン）の最初のページに、大きな見開きの絵と、それに関連した音声や動画が用意されています。これらは何のためにあり、どのように指導をすればよいのでしょうか。相田眞喜子先生に解説していただきます。

各レッスンの冒頭にある見開きのページで、いろいろな情景が描かれたイラスト中心のページのことを『CROWN Jr.』では「パノラマ」と呼んでいます。また、指導用CDやデジタル教科書にはパノラマを見ながら聞く Panorama Talk¹ が収録されています。パノラマや Panorama Talk について先生方から「使い方がわかりません」「とても難しいです。全部わからせないとだめですか」などと質問をいただくことがあります。今回は、パノラマと Panorama Talk の音声を有効に使っていただくために、制作意図や使い方、子どもたちの学び方についてお話ししたいと思います。

パノラマの役割

パノラマは授業の中でとても大切な役割を果たします。パノラマには、子どもたちの興味を引くいろいろな絵が描き込まれています。また、そのレッスンのターゲットである表現を使う必然性がある場面や状況も描かれています。子どもたちと絵を見ながらやり取りしたり、音声を聞かせたりして、既習表現を復習しながら、ターゲット表現に出会わせます。一言一句理解させるのではなく、子どもたちが聞き取れたところを手がかりにして全体の意味を推測しながら聞く力を伸ばします。

まずパノラマの絵を眺めてやり取りをする

まずは、子どもたちと一緒にパノラマを開いて眺めてみてください。詳細に描かれた絵を見ていると「ここにこんな絵があるよ」「これは何だろう」「いくつあるかな」などと話しくなってきます。是非、What is this? や Can you see a tiger? How many monkeys can you see? など、既習の表現や簡単な英語を使って子どもたちに話しかけてください。絵が理解を助けてくれますので、きっと楽しくやり取りできると思います。

ここでじっくり絵を見てやり取りしておく、その後、音声を聞かせたときに、子どもたちが聞き取れることが増えます。全部ネタバレしてしまうとつまらないですが、Panorama Talk の内容を少し意識してやり取りしておく、良いと思います。

Panorama Talk を聞かせてみる

Panorama Talk には、既習の表現だけでなく、これからこのレッスンで学習しようとしている表現や、それ以外の未習の表現も使われています。それでも子どもたちは大丈夫なのでしょうか。具体的な例を見てみましょう。



『CROWN Jr. 5』 pp. 16-17 Lesson 1 パノラマ

次の英文は、5年生 Lesson1のPanorama Talk からの抜粋です（下線筆者）。

Jun likes yo-yos. There are many yo-yos in this room. Can you find all of them? I can see a blue yo-yo, a red yo-yo, a pink yo-yo, and many more! Where is the pink yo-yo? Yes! It's on the bed. How many yo-yos are there? One, two, three, four, five, six, seven, eight, nine, ten. Wow! Jun has ten yo-yos.

この英文を子どもたちにいきなり聞かせても、子どもたちがわかるだろうと想定できる部分はどこでしょう。繰り返し聞こえてくる yo-yo という単語は聞き取れると予測できます。blue, red, pink も聞いたことがあって、聞き取れそうです。pink yo-yo と聞こえてきた後で、bed と聞こえてきたら、子どもたちは絵の中でベッドを探し、その上にピンクのヨーヨーを見つけ、「あ、この yo-yo のことを話しているんだ」と理解できそうです。How many yo-yos are there? という質問の意味がわからなくても、すぐ後に One, two, three, . . . と数えているのが聞こえてくるので、「数をたずねられていたのか」と推測できると思います。

「pink って言った気がする」と子どもがつぶやいたら、クラス全体に「Oh, pink? Did you hear pink? (←少々 pink を強調気味に) もう一回聞いてみる?」と声をかけて音声を再度聞かせ、pink という単語が出てきたところで子どもたちが聞き取ってざわついたら、先生自身も「本当だ！ pink って聞こえたね」と応じ、「bed って聞こえた！」という子がいれば、「Oh, bed. あ、本当だ。Look. Here is a bed.」と絵を示して、子どもたちの理解を少しだけ後押しすると、小さな「わかった！」が積み重なっていきます。

この小さな「わかった」を積み重ねていくことで、わからないことがあっても諦めず、聞き取れたことや絵などを手がかり

¹ パノラマを使った Teacher Talk のサンプル音声。パノラマイラストの内容が描写され、レッスンのターゲット表現が盛り込まれている。

に理解しようとしながら聞き続ける力が育っていきます。将来英語を使うためには必須の力です。

このように、子どもたちの理解の仕方は、大人が英文を理解する方法とは少し違うことに注意してください。未習の表現や、小学校で学習する範囲外の表現も扱われていて、心配になると思いますが、先回りして和訳して教えたり、理解度を測るために和訳させたりしたい気持ちはぐっと我慢してください。ここではそれらの表現を学習させる場面ではありませんし、学習させる必要もありません。繰り返し聞くうちに聞き取れる部分が増えていく過程を観察しながら、先生方も子どもたちと一緒に楽しんで、「わかる」喜びを共有していただきたいと思います。「わからないところがあったらだめ」のではなく、「少しでもわかるところがあったらすごい」と褒めてあげると、子どもたちの意欲もぐんと高まり、自分の頭で「こういうことかな」と考えながら聞く習慣が身についていくことでしょう。

様々な表現を聞かせる

Panorama Talk には既習表現がたくさん含まれています。一つのレッスンを終わったら、そこで学習した表現はもう扱わないのではなく、繰り返しその表現を使う場面をつくり、復習することが定着につながります。

また、Panorama Talk には未習表現も使われていますが、既に触れたとおり、イラストが子どもたちの理解を助けてくれます。さらに、Panorama Talk には、上の例で見ていただいた通り、子どもたちが聞いてわかることばがたくさん散りばめられています。子どもたちは、英語の授業で学習した単語や表現だけでなく、生活する中で出会うたくさんの英単語を英語由来の外来語として知っています。Panorama Talk に散りばめられたこれらのことばが理解を助けます。既習未習の入り交じった文章で、子どもたちはすべてを聞き取って理解することはできなくても、「こんなことを言っているのかな」と推測しながら聞くことができます。

もちろん、時には子どもたちの推測が的外れなこともあります。そんなときも、日本語で解説してしまうのではなく、繰り返し聞かせたり、絵を指さしたり、ジェスチャーを添えたりすることで、子どもたちが自ら気づいて軌道修正できるよう導いてあげてください。

様々な表現が自然に入り交じった音声を繰り返し聞くことで、子どもたちは、イントネーションやアクセントやリズムなどの英語の音声の特徴も吸収していきます。そのためにも、Panorama Talk を繰り返し聞かせていただきたいと思います。

ある表現を子どもたちに出会わせる

次に、Panorama Talk に含まれるそのレッスンのターゲット表現についてお話しします。ある表現に初めて出会わせるとき、その表現が使いたくなるような自然な状況の中で、その表現を使っているところを聞かせたい、と思います。この表現はどんなときに使うのか、使うときにはどんな言い方をするのか、自

然なイントネーションやリズムなども含めて経験させるところから始めたいものです。

パノラマのイラストには、そのレッスンのターゲット表現を使う必然性がある場面や状況が描かれています。Panorama Talk では、表情豊かな語り口でターゲット表現を使っています。これから学習する表現が使われるのを聞いて、その意味を子どもたちが自分で考え、どんな風に言うのかなと耳を澄ませておくことは、レッスン本体に入る前の大切な準備となります。

Panorama Talk を聞き終わったら

Panorama Talk を聞き終わったら、ターゲット表現を意識して使うようにしてみてください。Panorama Dialog² を用いて、ターゲット表現が使われているところを聞かせ、Dialog のやり取りを参考にしつつ、子どもたちとやり取りしてみてください。『CROWN Jr.』での例を挙げると、持ち物について伝え合う 5 年 Lesson 1 のパノラマには、子どもが持っているようなものが描かれていますので、Do you have a bat? などと問いかけられます。He や She を扱う 5 年 Lesson 3 では、様々な人物が描かれていますので、Who is this? Is he Kintaro? や Oh, she is Alice. などとやり取りしてみましょ。6 年 Lesson 5 では、左右に過去と現在の里山の風景が描かれていて、「前はこうだったけれど、今はこうだね」と過去と現在を対比させながらやり取りするとよいでしょう。

子どもたちの発話は、単語だけで応じるなど、この時点ではとても未熟です。無理に英文を言わせたりせず、数回の授業を通して繰り返し使っているところを聞かせて、少しずつ言えるようになっていくよう導いていただきたいと思います。

子どもの「わかった！」を大切に

子どもたちに英語で話しかけたとき、わからないところにとらわれずに、わかったことから類推力を働かせて、全体を理解しようとし、即座に表情や動作やことばで応じる姿を見ていると、母語習得のときにそうであったように、子どもたちが不完全ながらも言語を使いながら獲得しようとしていると感ずります。これはまさに学習指導要領で言うところの「言語活動を通して」ということであり、言語を使いながら獲得しようとする子どもたちの力を大人が信頼して、教え込まずに、自ら考えて気づいていくよう手助けすれば、子どもたちの英語を使う力の基礎を築くことができると考えます。「全部わからせなくても大丈夫、子どもがわかるころはどこな、一緒に聞いてみよう」というくらいの気持ちで、是非、パノラマを活用して子どもたちに豊かな言語体験を提供していただきたいと思います。



相田真喜子(あいだ・まきこ)

田園調布雙葉小学校非常勤講師。その他、東京学芸大学、明星大学、フェリス学院大学において、小学校英語関連の講義を担当し、教員養成に携わる。

2 パノラマイラストに登場する人物同士の会話。レッスンのターゲット表現が盛り込まれている。

「わかった!」を増やす、パノラマ活用術 【実践編】

『CROWN Jr.』では、レッスンの全6時間において、パノラマを毎時の授業の冒頭に繰り返し扱うことを提案しています。6時間の中で、パノラマの活動をどのように構成するとよいでしょうか。また、パノラマを使ってどのようなやり取りをすればよいでしょうか。レッスン全体での指導の流れと、実際のやり取りの例も含めた1時間の具体的な指導手順を、永井淳子先生に教えていただきます。

本稿では、具体的に1レッスンを取り上げて、パノラマやパノラマに関連した活動をどのように進めていくかの一例を、子どもとのやり取りなども含めてご紹介したいと思います。

レッスンの概要

使用するレッスン：『CROWN Jr. 5』 Lesson 7

I want to go to Kenya. 行ってみたいところ

配当時間：6時間

パノラマ関連の活動配当時間：毎時10分



『CROWN Jr. 5』 pp. 88-89 Lesson 7 パノラマ

配当6時間の中でのパノラマ関連の活動の流れ

| 時 | 主な活動 |
|---|--|
| 1 | どこに行きたいかを伝える表現に出会う。 |
| 2 | 前時に学習した表現を用いて、指導者の問いかけに応じて自分のことを伝えてみる。 |
| 3 | 食べたいものや、したいことを伝える表現に出会う。 |
| 4 | 前時に学習した表現を用いて、指導者の問いかけに応じて自分のことを伝えてみる。 |
| 5 | I want to . . . の文を2文続けて、行きたい場所とそこでしたいことを伝える言い方に出会う。 |
| 6 | 前時に学習した表現を用いて、指導者の問いかけに応じて自分のことを伝えてみる。 |

1時間目 パノラマを眺めたり Panorama Talk を聞いて、そこに描かれた国々、特産物や動物などについて指導者の問いかけに答える。Where do you want to go? I want to go to... の表現に出会う。

2時間目 パノラマを眺めたり Panorama Talk を聞いて、描かれている国や特産物、動物などについてやり取りを深める。1時間目に学習した I want to go to... の表現を使って自分がどんな国や場所に行きたいか、表現してみる。

3時間目 パノラマを見ながら、これまでどんなことが聞こえてきたかやり取りした後、Panorama Talk を聞き、他に聞こえてきたことについて指導者の問いかけに答える。What do you want to eat? I want to eat... の表現に出会う。

4時間目 パノラマを見たり、Panorama Talk を聞いたりして、描かれている国や食べものについて、行ってみたい食べ物について、指導者の問いかけに答える。3時間目に学習した表現を使って自分のことについて表現してみる。

5時間目 パノラマを見ながら、これまでどんなことが聞こえてきたかやり取りした後、Panorama Talk を聞き、他に聞こえてきたことについて指導者の問いかけに答える。Where do you want to go? と尋ねられて、I want to go to Hawaii. I want to swim in the sea. などと、I want to... を2文続け、行きたい場所とそこでしたいことを伝える表現に出会う。

6時間目 パノラマを見たり、Panorama Talk を聞いたりして、どこに行きたいか、そこでやりたいことなどについて指導者の問いかけに答える。5時間目に学習した表現を使って、自分のことを表現してみる。

ポイント

- ・パノラマを見ながら、そこに描かれているものについてやり取りしたり、Panorama Talk を聞かせ、聞き取れたことを子どもから出させた後で、もう一度聞かせて確認する。
- ・Panorama Talk は子どもの様子に応じて何度か聞かせてもよい。
- ・2時間目以降は、Panorama Talk を聞く前に、復習としてこれまでにどんなことが聞こえてきたかをやり取りすると良い。
- ・音声はすべてを完璧に理解させる必要はない。くりかえし聞かせながら、だんだんと理解できるところを増やしていく。
- ・前時に学習した内容を用いて、指導者の問いかけに答えたり、自分のことを表現してみる機会を与える。

具体的な流れ（1時間目）

① パノラマを見るよう指示。イラストの場面や内容について児童に問いかけ、感想などを交えてやり取りする。

T: Look at the Panorama. What can you see?

Can you see any animals? What animals can you see?

S: ライオン。(その他、「ペンギン」「コアラ」など、口々に発話するだろう)

T: (子どもの発話を受け止め、パノラマのイラストを指し示したりしながら、英語らしい発音で表現する) Ah, a lion. (ライオンを探し出し) Oh, here is a lion. Koalas? Yes. We can see koalas. They are cute.

(イグアナを指して) What is this?

S: イグアナ?

T: Ah, right. It is an iguana. What else can you see?

S:ソーセージ! (他にも「ピザ」「すし」など食べ物についての発話があるかもしれない)

T: Oh, sausages. They look delicious. I like sausages. Do you like sausages?

What are these? (ピラミッドを指して)

S: ピラミッド!

T: Yes. They are the Pyramids. Where are they? Are they in Spain? Are they in France? (わざと該当しない国を挙げて、何を聞かれているかを類推させる)

S: No. エジプト。

T: That's right. They are in Egypt.

② Panorama Talk を聞かせる。どんな英語が聞こえたか、やり取りする。

T: Now, let's listen. What can you hear?

(「何が聞こえるかな?」と興味を持たせて誘い、

Panorama Talk を聞かせる)

聞いた後で、どんな英語が聞こえてきたかやり取りする。子どもたちがカタカナ英語で聞いたことのある国の名前などが出てくることが予想される。子どもの発話を受け止め、英語らしい発音で返したい。

T: What did you hear?

S: チャイナ。

T: Oh, you heard "China." Did you hear any other countries?

S: カナダ/ガーナ/オーストラリア/フランス/メキシコ(など)。

T: Oh, "Canada." Did you hear "Australia"?

その他、「コアラ」「アイスホッケー」「チョコレート」なども聞き取るかもしれない。「じゃあ、もう一度、聞いて確かめてみよう」と言って、再度聞いてみる。

T: Now, let's listen once more.

2回目に聞く際には、1回目に聞き取れたと発言があった単語が出てきたら、「あ、本当だね、あったね」などのように子どもたちが聞き取れていたことを認めながら、一緒に確認していく。

③ Panorama Dialog を聞かせ、やり取りする。

T: Please listen (to this dialog). Who is talking?

「今度は、誰と誰の会話かな? 聞いてみよう」と誘い、

Panorama Dialog を聞かせ、やり取りをする。

T: Who is talking? Yes. Nick and Yumi are talking.

What are they talking about? (どんなことを話していたかな?)

Does Nick like animals? Yes? What animal does he like? Does he like cats?

S: No. ライオン。

T: Yes, he likes lions. Where does he want to go?

Does he want to go to Australia?

S: No. ケニア。

T: Ah, he wants to go to Kenya. How about Yumi?

Where does she want to go? Does she want to go to Kenya, too?

S: No. スペイン。

T: Does she want to go to Spain? Yes?

何が好きか、どこに行きたいか、など、はじめから全て聞き取れなくても良い。聞き取れたと思った子どもの発話を受け止め、「じゃあ、もう一度聞いて確かめてみよう!」と言って、再度聞くようにする。下線の表現はターゲット表現に関連した表現なので、丁寧に発話し、聞かせるようにする。

T: Now, let's listen again.

④ ターゲット表現の理解やアウトプットにつなげていく

この後、ターゲット表現に焦点化された音声を聞かせ、内容を理解させながら、徐々にアウトプットできるよう導いていく。1時間目、3時間目、5時間目は、ターゲットの表現に慣れ親しみ、理解させるレベル。2時間目、4時間目、6時間目は、ターゲット表現をくりかえして練習し、子どもが自分のことを表現できるようサポートする。

おわりに

授業全体を通して、子どもたちと心を込めてやり取りする中で、新しい表現に出会わせ、子どもたちがその表現を使って自分のことを伝えられるよう、サポートしたいと思います。パノラマや音源は、そのための心強い助っ人です。上手に活用して、子どもたちと楽しく授業を進めていっていただきたいと思います。



永井淳子(ながい・じゅんこ)

東京都市大学付属小学校英語科講師。その他、青山学院大学、東京学芸大学において、小学校英語関連のコースを担当し、教員養成に携わる。

Tips for Activities!

やってみよう
英語活動

英語の授業で欠かせないコミュニケーション活動を楽しむ行うためには、どうすればよいでしょうか。子どもも先生も楽しめる活動のためのヒントと活動例を、真田恵美子先生にご紹介いただきます。

子どもたちの「わくわく」を引き出す授業

子どもたちの「わくわく」を引き出す授業を！

小学校では、子どもたちがゲームなどの活動を通して、楽しく英語の単語や表現を身に付けていけるように指導しています。しかし、ゲームは自分の気持ちや考えを伝える活動ではなく、型にはまった表現のやり取りです。その先に、子どもたちが「もっとやってみたい」「伝えたい」と「わくわく」し、心と頭を動かして、英語でコミュニケーションをしようとする姿があるべきだと考えます。子どもたちの「わくわく」する気持ちを引き出すためには何か必要でしょうか。

●キーワード① リアル

できる限り本物に近いこと

活動例① オリジナルサンドイッチを考えよう！ 実際に作ってみて、クラスのグランプリを選ぼう！（家庭科との連携）

活動例② ALTの先生たちに^{みのお}箕面市観光ガイドブックをプレゼントしよう！

子どもたちがわくわくしてやってみたいと思うような授業には「リアル」な場面設定が必要です。なぜなら、リアルな場面設定の中でこそ、子どもたちは活動を自分のこととして捉え、本物のやり取りが生まれるからです。活動例のように、小学校の英語教育だからこそできる他教科との連携や、学校や市内にいるALTを活用することでリアルな場面設定ができます。

●キーワード② 自由度

型にはめるのではなく、

自由に考えたり工夫したりすることができること

活動例① レストランのコマーシャルを作ろう！（架空のレストランを考えて、紹介する動画を撮影する）

活動例② 理想の修学旅行のプランを考え、校長先生にプレゼントしよう！

自由度を与えることで、子どもたちはどんどん想像力を働かせ、自分たちで工夫して取り組みます。型にはめるのではなく、自由に自分の気持ちやアイデアを表現できる活動が子どもたちの「わくわく」する気持ちを引き出します。

子どもたちの「わくわく」を引き出す 箕面市の取り組み

English Town

できるだけ本物に近い場面で英語を使う機会を子どもたちに与えるために、市内全小学校の6年生でEnglish Townというイベントを実施しています。体育館にレストラン、銀行、コンビニ、映画館、交番などの16個のブースを作り、子どもたちはそこで働いている人になりきっているALTたちと英語でやり取りをします。子どもたちは海外の町にいるような気持ちで、英語やジェスチャーを使いながら買い物したり、やり取りしたりしています。



電話注文に挑戦！

市内のALTと子どもたちをビデオ通話でつなぎ、電話注文に挑戦します。実際に現実の場面でありそうな「ピザの注文」「映画のチケットの予約」「旅行の申し込み」を行います。



子どもたちの「わくわく」を引き出すためには、まずは先生自身が「わくわく」することを考え、先生の「わくわく」を子どもたちに見せることが大切です。大人も子どもも「わくわく」する授業にチャレンジしましょう！



真田恵美子(さなだ・えみこ)

大阪府箕面市教育委員会英語教育支援員。関西大学大学院外国語教育学研究科修了。76名のALTを活用した子どもたち主体の英語教育の推進に取り組んでいる。

小学校外国語の評価は難しい？ ③

これまで2回にわたり、大田亜紀先生に、評価に関する先生方からの疑問にお答えいただきました。最終回では、A評価とB評価はどのように分けたらよいのか、評価基準について解説していただきます。

めざす姿と評価の計画

評価規準の設定後、授業における児童の活動の様子から記録に残す評価を行おうとする際、評価基準が必要になります。そこで、評価計画を立案する際に、児童のどのような姿を「十分に満足できる」状況(A)、「おおむね満足できる」状況(B)と評価するかを考えたり、また「努力を要する」状況(C)に対する支援等を考えたりします。評価基準は3つの段階で設定されますが、どの児童も「おおむね満足できる」状況に到達できることをめざします。そのため、「おおむね満足できる」状況の姿を明確にしておくことは、実際の評価場面においてその実現状況を把握する上で、とても大切です。また、記録に残す評価を行わない授業においても、目標に向けて指導は行うわけですから、児童の活動の様子をみながら個別の支援や指導の改善等もしやすくなります。このように、まだ目標に達していない児童がいることを把握し、授業改善や学習改善を通じて目標達成まで導くことこそが学習評価のねらいです。

AとBの違いをどのように設定するか？

では、「十分に満足できる」状況(A)と「おおむね満足できる」状況(B)の基準をどう設定していったらよいでしょうか。各学校、学年、学級の実態に応じて設定をしていますが、その違いの設定が難しいというお悩みの声をよく耳にします。ここまでは達成させたい「おおむね満足できる」状況をどう具体化するか、ここが一番のポイントだと思います。『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料』に示されている例を見てみましょう(右表参照)。

本事例は、『We Can! 2』Unit 1「This is ME!」の第8時における評価例です。「話すこと【発表】」の領域を「知識・技能」、「思考・判断・表現」の観点で評価し、児童1と児童2のパフォーマンスとA基準、B基準の例が示されています。例えば、「知識・技能」の違いは、児童2の姿がおおむね満足できる状況として「B」で評価されています。児童2の発話を見ると、間違いはありますが、好きなものやできることなど、自己紹介に関する語句や表現を用いて自分の考えや気持ちを伝えるという目標には到達しているため、「おおむね満足できる」と判断しているということです。これに対して児童1は、自分の考えや気持ちを話していることに加えて、表現を正しく用いて話すことができていること、この状況を「十分満足できる」としています。この事例は、あくまで評価の参考資料であり、評価基準は学級の実態に応じて設定して良いものです。「A」の設定に悩んでいる先

生の評価事例をお聞きすると、本事例で「A」とされている児童1の姿を「B」と設定するなど、評価基準を高く設定しすぎている場合もあるように感じます。

表「事例3 第8時における「話すこと【発表】」の評価例」

| | 児童1 | 児童2 |
|----------|--|---|
| パフォーマンス | Hello. My name is ○○. I like baseball. Do you like baseball? Baseball is fun. I can swim well. I like sports. I like cats. I have a brown cat. She is cute. My birthday is April 2nd. When is your birthday? Thank you. | Hello. My name is ○○. I like P.E. Do you like P.E.? I like cat. Do you like cat? I can soccer. Thank you. |
| 知識・技能 | 【評価規準】 〈知識〉自己紹介に関する語句や、I (don't) like ~. I can/can't ~. My birthday is ~. I'm ~. の表現について理解している。 〈技能〉好きなものやこと、できることなど、自己紹介に関することについて、話す技能を身に付けている。 | |
| | A 既習表現を正しく用いて、自分の考えや気持ちを話している。 | B 既習表現を概ね正しく用いて、自分の考えや気持ちを話している。 |
| 思考・判断・表現 | 【評価規準】 自分のことをよく分かってもらうために、好きなものやこと、できることなど、自己紹介に関することについて、話している。 | |
| | A 話す順番の工夫 自ら相手に問いかけ 情報を付加 | B 聞き手への問いかけ 既習語句や表現を使用 |

※『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料』pp.68-96より要約

子どもに元気を与える評価に

3回に渡って評価について連載しましたが、「小学校外国語の評価は難しい？」の回答は、やはり「難しい！」です。今後、授業実践の積み重ねを通して変わっていくものだと思います。評価をすることで子どもたちが自信をつけ、できるようになる喜びを感じ、そして元気になる、そのような指導と評価が増えることを願っています。

参考資料: 文部科学省 国立教育政策研究所『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料』小学校 外国語・外国語活動』令和2年3月



大田亜紀(おおた・あき)

別府大学短期大学部 初等教育科 准教授。福岡県公立小学校教諭、福岡県教育センター指導主事、公立小学校教頭を経て現職。

短い時間で、聞いて/覚えて/話せる!! 新しいコンセプトの英単語学習教材!!

\\チャンツとチャンクで身につく/

おとかん
音感

👑 **キッズクラウン**

場面で話せる英単語 Part 1

2023年度より、
Web版 登場!

下 薫 (マジカルキッズ英語研究所)・三省堂編修所 編



- 約800語の英単語を20のカテゴリで提示
- 英単語は『キッズクラウン英和辞典』をベースに選定
- 音声を単語/チャンクの2パターンでインプット

体験版
お申込みはコチラ

<https://tb.sanseido-publ.co.jp/otokan/>



| ライセンス形式 | 対応OS | 価格 |
|---------------------------------------|---------------|--------------|
| 学校内 ライセンス (期限なし・台数制限なし) | Windows 10/11 | 41,800円 (税込) |
| | iPadOS 14~ | 41,800円 (税込) |
| 学校内 年間ライセンス (購入月の翌年月末まで・台数制限なし) | Windows 10/11 | 11,000円 (税込) |
| | iPadOS 14~ | 11,000円 (税込) |
| シングルライセンス (期限なし・1端末のみ) | Windows 10/11 | 4,950円 (税込) |
| | iPadOS 14~ | 4,950円 (税込) |

*Webブラウザでのご利用は、WindowsおよびChromebookのみとなります。



学校内ライセンスなら、校内の教員用・児童用端末に何台でもインストールいただけます!

三省堂はGIGAスクール構想に全力で対応していきます!

AIがスピーキングを自動採点!! 英語の学びを総合的に支援!!



ELST® Elementary

小学校英語 総合対策アプリ

令和2~5年度

CROWN Jr. 5 6 準拠

おもな機能 ▶▶▶▶▶

単語



「正しい発音を聞く・真似て発音する・書く」のサイクルを通して、語彙を定着させる学習ができます。

会話



あいさつや質問への返答など、様々な場面に合わせた会話表現を学ぶことができます。

英検対策



画面に面接官が登場し、実際の面接形式に沿って、練習に取り組むことができます。

サービス提供: **株式会社サインウェーブ** <https://www.sinewave.co.jp/>

価格、サービスの詳細は下記の弊社連絡先、またはお近くの弊社担当者までお問い合わせください。

三省堂教科書・教材サイト <https://tb.sanseido.co.jp/>

▶▶▶ ICT実践事例紹介・授業レポートプラス 公開中!

三省堂 〒102-8371 東京都千代田区麹町 5-7-2

※この冊子は、一般社団法人教科書協会が定めた「教科書発行者行動規範」に則って配布しております。